

平成30年 消防概況



篠山市消防本部（署）

目 次

	ページ
1 火災の概要	
(1) 発 生 状 況	1
(2) 出 動 状 況	2
(3) 月 別 発 生 状 況	2
(4) 時 間 帯 別 発 生 状 況	3
(5) 出 火 原 因 状 況	3
2 救急の概要	
(1) 出 動 状 況	4
(2) 月 別 出 動 状 況	5
(3) 年 齢 別 搬 送 状 況	5
(4) 曜 日 別 出 動 状 況	6
(5) 傷 病 程 度 別 搬 送 状 況	6
(6) 応 急 救 命 処 置 の 状 況	7
(7) 医 療 機 関 別 搬 送 人 員 の 状 況	7
(8) 現 場 到 着 所 要 時 間 の 状 況	8
(9) 収 容 所 要 時 間 別 搬 送 人 員 の 状 況	8
(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況	8
3 救助の概要	
(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況	9
(2) 事 故 種 別 ご と の 活 動 状 況	9
4 その他の概要	
(1) そ の 他 出 動 の 状 況	10
(2) 出 張 所 出 動 状 況	10
5 通信の概要	
1 1 9 番 通 報 の 受 信 状 況	11

1 火災の概要

平成30年中の火災出動件数は30件で、前年より8件増加している。火災種別ごとの出動件数は、「建物火災」は10件で、前年より5件増加、「林野火災」は5件で、前年より1件増加、「車両火災」は2件で、前年より1件減少、「その他の火災」（圃場や河川敷の枯れ草焼き等）は13件で、前年より3件増加している。

建物火災のうち、住宅で発生した火災は5件で、前年より3件増加し、焼損棟数も前年より5棟増加しているが、焼損面積は、前年より大幅に減少している。

前年に引き続き火災における死者はないが、負傷者は3人で、前年より1人増加している。

(注) 火災の概要で、火災の種別は、次のとおりに区分している。

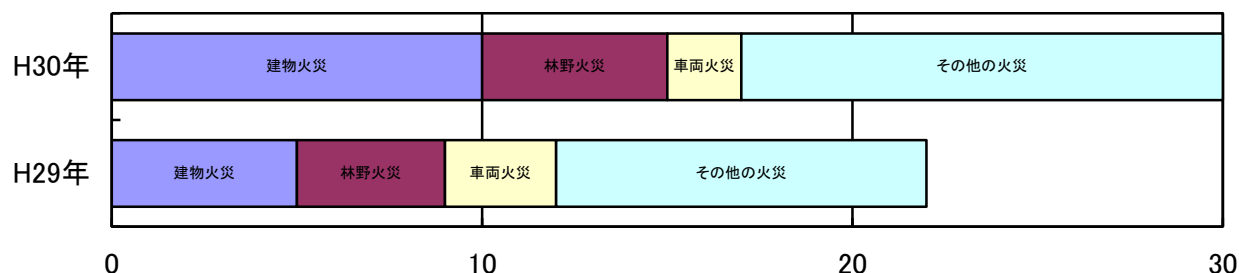
建物火災・林野火災・車両火災・船舶火災・航空機火災・その他の火災
 なお、篠山市内では、船舶火災及び航空機火災は発生していないため省略

(1) 発生状況

区 分		平成 30 年	平成 29 年	比 較
出 火 件 数	建 物	10 (5)	5 (2)	5 (3)
	舞鶴道			
	林 野	5	4	1
	舞鶴道			
	車 両	2	3	△1
	舞鶴道			
	その他の	13	10	3
舞鶴道				
総 件 数	30 (5)	22 (2)	8 (3)	
焼 損 棟 数	全 焼	7 (3)	3 (1)	4 (2)
	半 焼		1 (1)	△1 (△1)
	部 分 焼	4 (2)	1	3 (2)
	ぼ や	2 (2)	1	1 (2)
	総 数	13 (7)	6 (2)	7 (5)
焼 損 面 積	建物「㎡」	673(252)	498(421)	175(△169)
	林野「a」	15	59	△44
り災世帯数「世帯」	3 (3)	2 (1)	1 (2)	
り災人員数「人」	4 (4)	4 (2)	0 (2)	
死 者 数「人」				
負 傷 者 数「人」	3 (2)	2 (1)	1 (1)	

()内は住宅火災

(注) 焼損面積中の建物「㎡」は床面積のみを計上



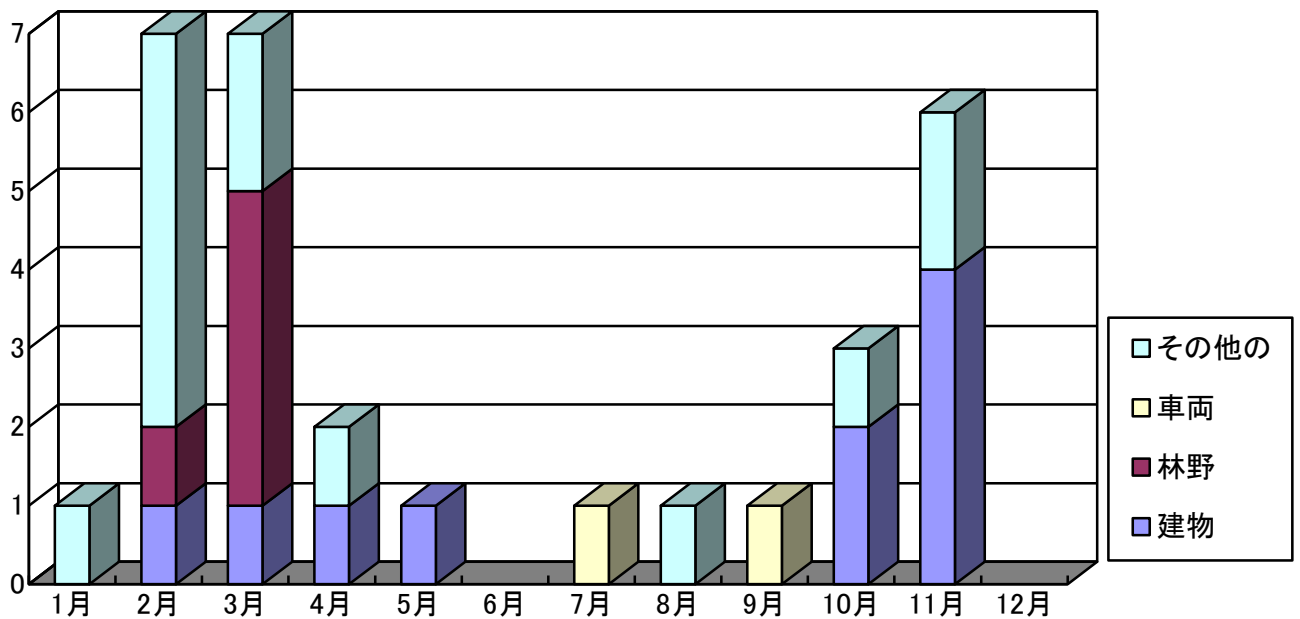
(2) 出動状況

区 分		建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
出 動 件 数		10	5	2	13	30
出 動 人 員	消防署	109	46	16	111	282
	消防団	426	256	47	448	1,177
	総 数	535	302	63	559	1,459
1件あたりの出動人員		54	60	32	43	49
出 動 車 両	消防署	41	15	5	33	94
	消防団	70	46	9	79	204
	総 数	111	61	14	112	298
1件あたりの出動車両		11	12	7	9	10

(3) 月別発生状況

区 分	建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
1 月				1	1
2 月	1 (1)	1		5	7 (1)
3 月	1	4		2	7
4 月	1 (1)			1	2 (1)
5 月	1				1
6 月					
7 月			1		1
8 月				1	1
9 月			1		1
10 月	2 (2)			1	3 (2)
11 月	4 (1)			2	6 (1)
12 月					
合 計	10 (5)	5	2	13	30 (5)

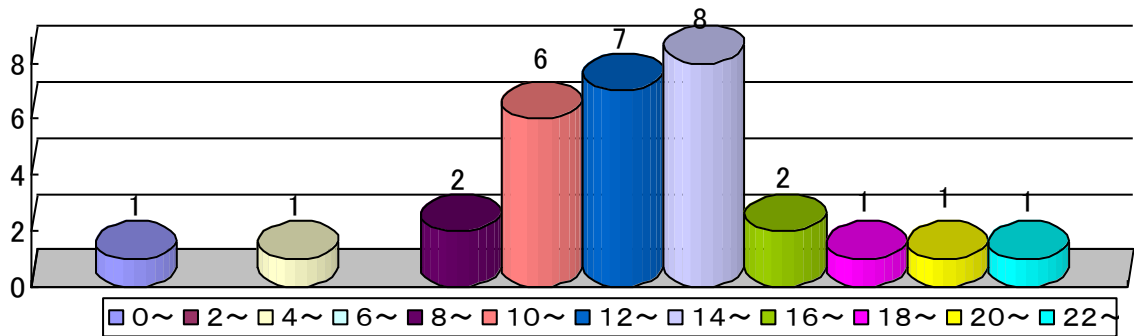
() 内は住宅火災



(4) 時間帯別発生状況

区分 時間	建 物	林 野	車 両	その他の	総 数
0～	1 (1)				1 (1)
2～					
4～	1 (1)				1 (1)
6～					
8～	1		1		2
10～	1 (1)	1		4	6 (1)
12～	2	2		3	7
14～	1 (1)	2		5	8 (1)
16～	1			1	2
18～	1 (1)				1 (1)
20～	1				1
22～			1		1
総 数	10 (5)	5	2	13	30 (5)

() 内は住宅火災



(5) 出火原因状況

区 分	平成 30 年					平成 29 年				
	建物	林野	車両	その他の	合計	建物	林野	車両	その他の	合計
放火(疑い含む)	1(1)				1(1)	1(1)				1(1)
たばこ				1	1				1	1
こんろ										
たき火	3(1)	5		12	20(1)	2	4		8	14
電灯・電話等の配線									1	1
ストーブ	1(1)				1(1)					
電気機器								1		1
電気装置			1		1					
溶接機・切断機	1				1					
煙突・煙道	2(1)				2(1)					
衝突の火花								1		1
その他	1		1		2	1		1		2
不明	1(1)				1(1)	1(1)				1(1)
合 計	10(5)	5	2	13	30(5)	5(2)	4	3	10	22(2)

() 内は住宅火災

(注) 出火原因区分欄の太文字(ゴシック体)は全国の出火原因ワースト3

2 救急の概要

平成30年中の救急出動件数は2,206件で、前年より88件増加、搬送人員は2,137人で、前年より46人増加し、いずれも過去最多となっている。1日あたりの平均出動件数は約6件で、年間を通じ市民19人に1人が救急車を利用したことになる。

事故種別ごとの救急出動件数は「急病」が1,342件で、前年より大幅に77件増加、「一般負傷」は359件で、前年より32件の増加、「転院搬送」は265件で、前年より36件増加しているが、「交通事故」は172件で、前年より大幅に71件減少している。

年齢別搬送人員は、65歳以上が1,348人(63.1%)で、全搬送人員の半数以上を占めている。

(注) 救急の概要にある事故種別区分について、「(1) 出動状況」は全ての事故種別を区分しているが、その他の表については主要な事故種別のみ揭示し、それ以外は「その他」として一括区分している。

(1) 出動状況

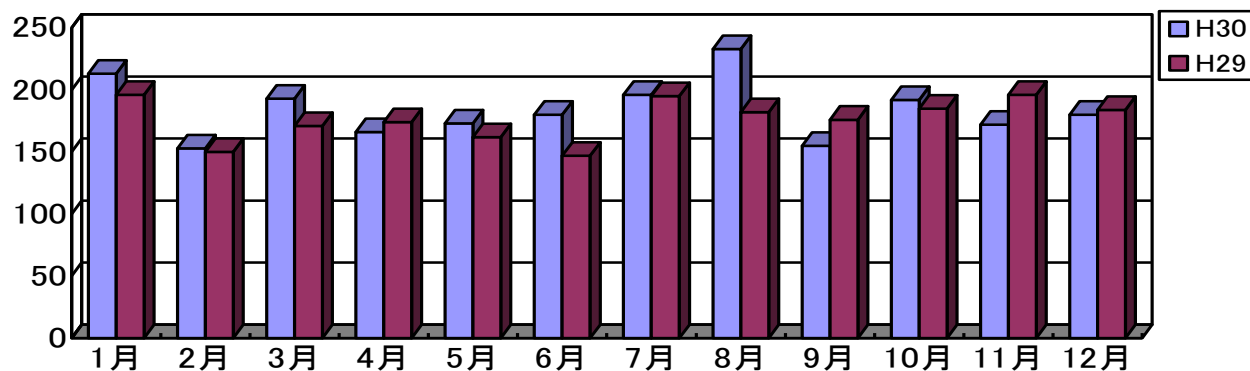
△は減少

区 分	平成 30 年		平成 29 年		比 較	
	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員
火 災	1	2	3	2	△2	0
自 然 災 害						
水 難	3	2			3	2
交 通 事 故	172	192	243	270	△71	△78
労 働 災 害	18	17	13	12	5	5
運 動 競 技	26	27	18	18	8	9
一 般 負 傷	359	347	327	327	32	20
加 害	7	6	2	2	5	4
自 損 行 為	13	7	12	8	1	△1
急 病	1,342	1,276	1,265	1,220	77	56
転 院 搬 送	265	261	229	229	36	32
医 師 搬 送			2		△2	
資 器 材 搬 送						
そ の 他			4	3	△4	△3
合 計	2,206	2,137	2,118	2,091	88	46
舞鶴道	17	14	10	7	7	7
管 外	3	2	1	1	2	1

(2) 月別出動状況

△は減少

区 分	平成 30 年	平成 29 年	比 較
1 月	213	196	17
2 月	153	150	3
3 月	193	171	22
4 月	166	174	△8
5 月	173	162	11
6 月	180	147	33
7 月	196	195	1
8 月	233	182	51
9 月	155	176	△21
10 月	192	185	7
11 月	172	196	△24
12 月	180	184	△4
合 計	2,206	2,118	88



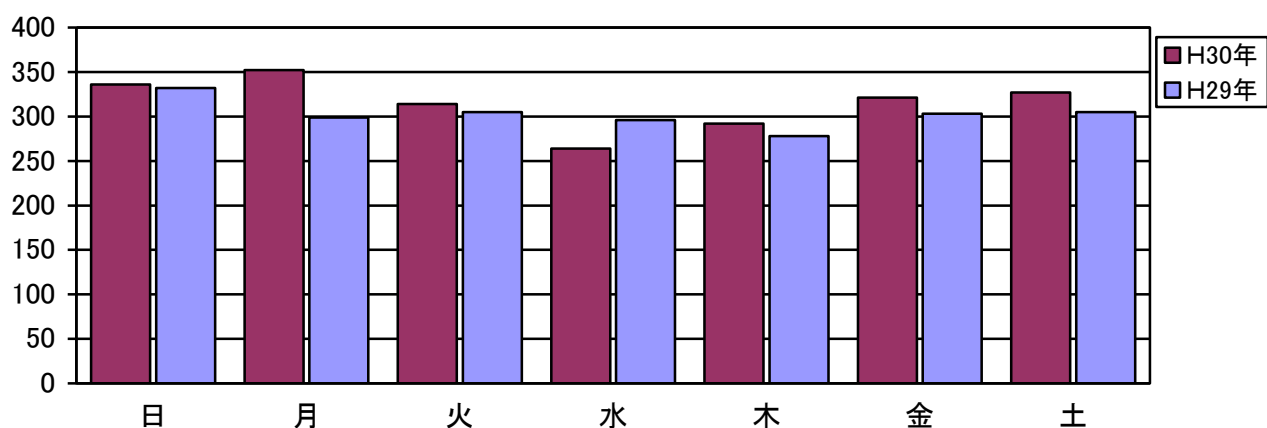
(3) 年齢別搬送状況

区 分		新生児 (28日以内)	乳幼児 (29日～6歳)	少年 (7歳～17歳)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合 計
急 病	30 年		71	35	319	851	1,276
	29 年	1	58	31	307	823	1,220
交通事故	30 年		4	14	122	52	192
	29 年		16	22	150	82	270
一般負傷	30 年		29	8	59	251	347
	29 年		19	11	59	238	327
転院搬送	30 年	5		4	67	185	261
	29 年	6	5	3	57	158	229
その他	30 年		1	23	28	9	61
	29 年	1		17	23	4	45
合 計	30 年	5	105	84	595	1,348	2,137
	29 年	8	98	84	596	1,305	2,091

(4) 曜日別出動状況

△は減少

区分	平成 30 年						平 29 年	比較
	急 病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	合 計	合 計	
日	214	21	61	25	15	336	332	4
月	206	31	55	52	8	352	299	53
火	205	23	38	38	10	314	305	9
水	153	19	48	38	6	264	296	△32
木	187	19	48	35	3	292	278	14
金	177	29	58	47	10	321	303	18
土	200	30	51	30	16	327	305	22
合計	1,342	172	359	265	68	2,206	2,118	88



(5) 傷病程度別搬送状況

区 分	死 亡	重 症	中等症	軽 症	へり中継	カー中継	合 計
急 病	31	127	550	544	22	2	1,276
交通事故		1	21	161	5	4	192
一般負傷	4	47	114	173	8	1	347
転院搬送		51	185	25			261
そ の 他	1	7	12	36	4	1	61
合 計	36	233	882	939	39	8	2,137
(比率:%)	(1.7)	(10.9)	(41.3)	(43.9)	(1.8)	(0.4)	(100)

(注) 死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの
 へり中継 ドクターヘリによる中継搬送のため傷病程度のカテゴリはなし
 カー中継 ドクターカーによる中継搬送のため傷病程度のカテゴリはなし

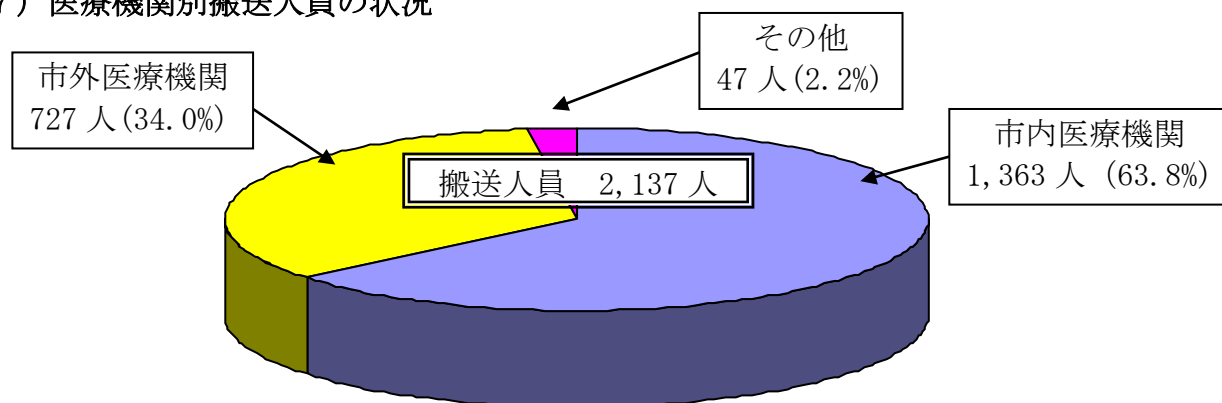
(6) 応急救命処置の状況

処置項目	対象人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
		1,276	191	347	322	2,136
止血		9	11	39	7	66
固定		34	79	130	12	255
人工呼吸		8			1	9
胸骨圧迫						
心肺蘇生		40		5	2	47
酸素吸入		338	16	28	94	476
気道確保		60		6	2	68
○ 用手・吸引		46		2	2	50
○ 経鼻エアウェイ						
○ 喉頭鏡、鉗子等		3		2		5
○ ◎器具による気道確保		10				10
○ ◎気管挿管		1		2		3
保温		67	15	20	13	115
被覆		15	45	80	14	154
在宅療法継続		43		2	3	48
血圧測定		1,189	184	323	314	2,010
心音・呼吸音聴取		255	39	30	25	349
血中酸素飽和度測定		1,241	191	341	319	2,092
心電図		964	61	131	209	1,365
◎除細動		4				4
◎血糖測定		33		1		34
◎静脈路確保		24		3		27
○ 心肺停止		13		2		15
○ 心肺停止前		8		1		9
○ 低血糖		3				3
◎薬剤投与		5		1		6
◎ブドウ糖投与		3				3
その他(体温測定、瞳孔観察等)		1,270	177	338	310	2,095
合計		5,602	818	1,478	1,325	9,223

(注1) 1人につき複数の応急救命処置を行うことがあるため、対象人員と事故種別ごとの処置項目の合計数とは一致しない。

(注2) ◎は、救急救命士が行うことのできる処置である。

(7) 医療機関別搬送人員の状況



(注) 「その他」とは、ドクターヘリによる中継搬送のため離着陸場へ搬送した人員(39人)及びドッキングポイントでドクターカーへ中継した人員(8人)

(8) 現場到着所要時間の状況

現場到着時間	3分未満	3分～ 5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 20分未満	20分以上	合 計
出動件数	17	38	1,058	935	158	2,206

(9) 収容所要時間別搬送人員の状況

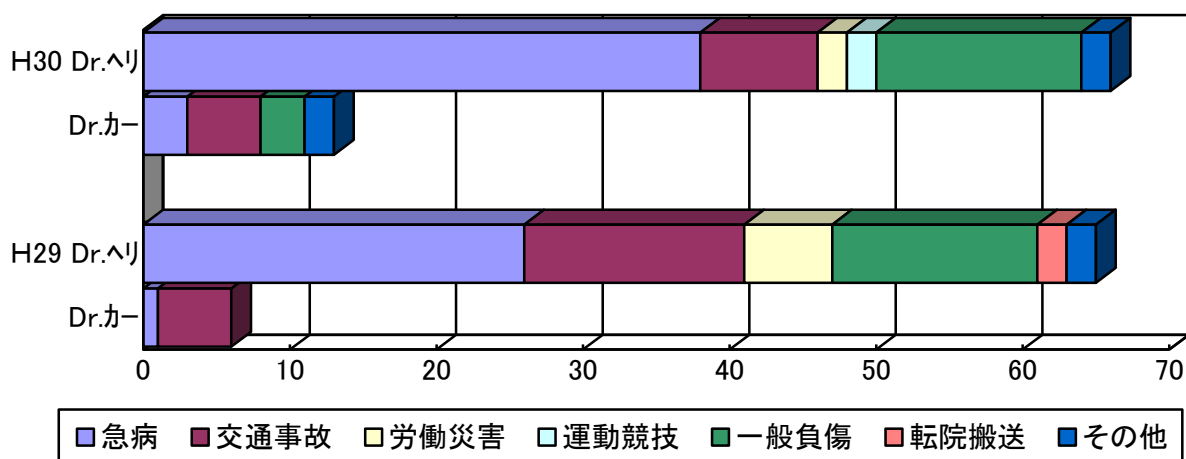
時間	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	合 計
搬送人員		24	391	1,326	379	17	2,137

(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況

「Dr.ヘリ」は、ドクターヘリ ・ 「Dr.カー」は、ドクターカー

区 分	平成 30 年				平成 29 年				比 較			
	要 請		搬 送		要 請		搬 送		要 請		搬 送	
	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー
急 病	38	3	22	2	26	1	20		12	2	2	2
交通事故	8	5	5	4	15	5	9	3	△7	0	△4	1
労働災害	2		2		6		5		△4		△3	
運動競技	2		2						2		2	
一般負傷	14	3	8	1	14		9		0	3	△1	1
転院搬送					2		2		△2		△2	
そ の 他	2	2		1	2				0	2		1
合 計	66	13	39	8	65	6	45	3	1	7	△6	5

ドクターヘリ・ドクターカー要請件数



3 救助の概要

平成30年中の救助出動件数は44件で、前年より7件増加、活動件数は26件で、前年より8件増加、救助人員も28人で、前年より11人増加している。

事故種別ごとの出動件数は、「交通事故」が17件で、前年より7件減少、「水難事故」が3件で、前年より3件増加、「建物事故」が15件で、前年より11件増加している。

事故種別ごとの活動件数は、「交通事故」が8件で、前年より2件減少、「建物事故」が10件で、前年より8件増加している。

事故種別ごとの救助人員は、「交通事故」が11人で、前年より1人増加、「建物事故」が10人で、前年より8人増加している。

(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況

区 分		出動件数		活動件数		救助人員	
平成30年		44	2	26	1	28	1
舞鶴道	1		1		1		
管 外							
平成29年		37	1	18		17	
舞鶴道							
管 外							

(注) 「出動件数」とは、要救助者の有無に関わらず、救助する目的で出動した件数をいう。
「活動件数」とは、要救助者が存在し又は存在が予想され、救助のため実際に活動を行った件数をいう。

(2) 事故種別ごとの活動状況

区 分		平成30年			平成29年		
		出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
事故種別							
火 災					1 (2.7)	1 (5.6)	
交 通 事 故		17(38.6)	8(30.8)	11	24(64.9)	10(55.6)	10
水 難 事 故		3 (6.8)	2 (7.7)	1			
自 然 災 害 事 故							
機 械 事 故		1 (2.3)	1 (3.8)	1	1 (2.7)	1 (5.6)	1
建 物 事 故		15(34.1)	10(38.5)	10	4(10.8)	2(11.0)	2
ガ ス ・ 酸 欠 事 故					1 (2.7)		
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故		8(18.2)	5(19.2)	5	6(16.2)	4(22.2)	4
内 訳	山岳事故	3 (6.8)	1 (3.8)	1	1 (2.7)		
	低所事故	1 (2.3)	1 (3.8)	1	1 (2.7)	1 (5.6)	1
	高所事故	1 (2.3)			1 (2.7)	1 (5.6)	1
	挟まれ等の事故	3 (6.8)	3(11.6)	3	3 (8.1)	2(11.0)	2
	誤 報						
合 計		44(100)	26(100)	28	37(100)	18(100)	17

() 内は、構成比%

(注) その他の事故の「誤報」とは、勘違い等で災害事象が存在しない場合をいう。

4 その他の概要

平成30年中の火災、救急及び救助以外の出動件数は108件で、前年より1件増加している。

出動の大半は、救急出動に伴う「ヘリ支援」となっている。

(1) その他出動の状況

種別 目的	火災不至	警 戒	誤報・虚報	市外応援	そ の 他	合 計
油 流 出		4			8	12
焼 却 行 為		2			1	3
救 急 支 援				4	5	9
へ り 支 援					59	59
ガ ス 漏 れ		1				1
火災報知機の作動			10			10
火 煙		3	4			7
火 災 不 至	6					6
そ の 他					1	1
合 計	6	10	14	4	74	108
舞鶴道				4	2	6
管 外				4		4
出 動 人 員	26	33	60	12	244	375

- (注) 油 流 出…事故車両等からの油流出の処理活動
 焼 却 行 為…ゴミ類等の焼却現場での活動
 救 急 支 援…救急現場での支援活動
 へ り 支 援…消防防災ヘリ及びドクターヘリ要請に伴う陸上支援活動
 ガ ス 漏 れ…ガス漏れ現場での活動
 火災報知機の作動…火災報知機の作動に伴う活動
 火 煙…火煙発生の通報による出動
 火 災 不 至…火災の定義に該当するが、規模、被害等が極めて軽微な現場での活動
 そ の 他…上記のいずれにもあてはまらない活動

(2) 出張所出動状況

区 分	救 急		火 災		そ の 他	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
東出張所	155	137	6		4	
西出張所	202	176	2	2	2	
南出張所	114	92	2	2		1
合 計	471	405	10	4	6	1

5 通信の概要

平成30年中における全ての119番通報の受信件数は3,017件で、前年より56件増加している。そのうち「火災」、「救急」及び「救助」等の災害緊急通報が1,900件で、前年より91件増加している。また、「まちがい」、「いたずら」、「無言」及び「災害に対する問い合わせ」等の不適切な通報は250件で、前年より79件増加している。

119番通報の受信状況

種別	総数	火災	救急	救助・警戒	訓練・試験	医療情報の問い合わせ	まちがい	いたずら	無言	問い合わせ			その他
										火災	救急	救助警戒	
平成30年	3,017	40	1,777	83	251 (12)	616	73	8	6	7	0	156	
構成比	100%	1.3	58.9	2.8	8.3	20.4	2.4	0.3	0.2	0.2	0	5.2	
平成29年	2,961	32	1,702	75	314 (12)	667	49	8	4	11	0	99	
構成比	100%	1.1	57.5	2.5	10.6	22.5	1.7	0.3	0.1	0.4	0.0	3.3	

() 内はFAX119による通報

